

2026年8月期 第3四半期 決算説明資料

日創グループ株式会社(証券コード:3440)

2026年7月15日

会社情報

■ 社 名	日創グループ株式会社 (英文表記:NISSO GROUP Co., Ltd.)
■ 代 表 者	代表取締役社長 石田 徹
■ 本 社	福岡県福岡市南区向野2-10-25
■ 設 立	1983年9月
■ 資 本 金	1,190百万円
■ セ グ メ ン ト	金属加工、化成品、建設、ライフスタイル

グループ経営理念

日々創造

グループビジョン

「創る」力で未来に挑む
企業グループ

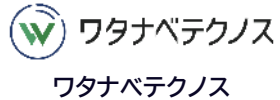
NISSO GROUP (2026年5月末現在)

- 日創プロニティ株式会社
吾孺ゴム工業株式会社
日創エンジニアリング株式会社
綾目精機株式会社
株式会社ダイリツ
株式会社ワタナベテクノス
ニッタイ工業株式会社
株式会社天神製作所
カナエテ株式会社
- 株式会社マルトク
大鳳株式会社
フォームテックス株式会社
株式会社泉製作所
株式会社B SLASH HOLDINGS
株式会社ベルフラッツ
株式会社ビーズネクサス
株式会社ビーズコンセプト
東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社

- 株式会社新華日通(非連結子会社)
シキファニチア株式会社(非連結子会社)
株式会社穴井工務店(非連結子会社)
日創不動産株式会社(非連結子会社)
一般社団法人Natural Capital(関連会社)
GXエナジーソリューション合同会社(関連会社)

金属加工

建設、エネルギー、機械設備分野等における各種金属製品の企画・設計・加工・製造・販売



化成品

住宅、機械、インフラ分野、輸送機械等における各種ゴム・ウレタン製品・樹脂成型製品の企画・設計・加工・製造・販売



建設

内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事



ライフスタイル

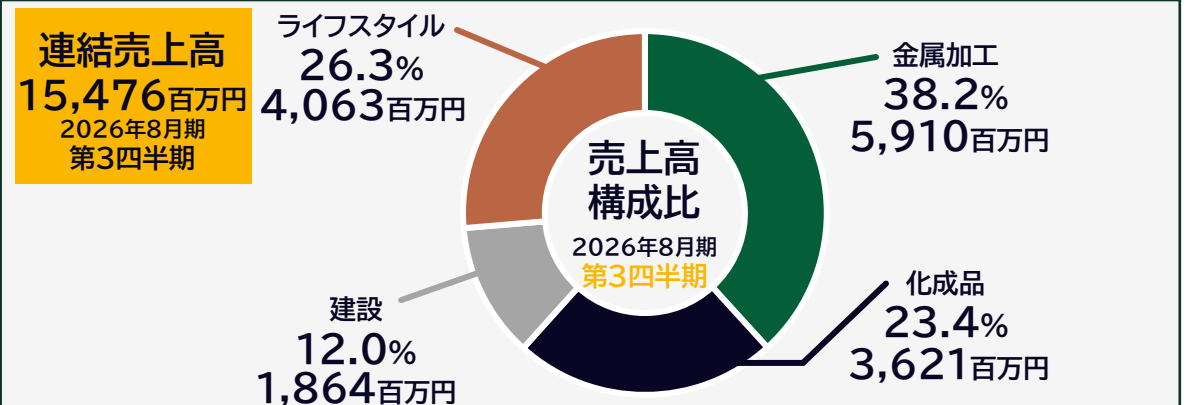
タイル製造・販売、木材加工・卸売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び分譲マンションの企画・開発、リノベーション事業



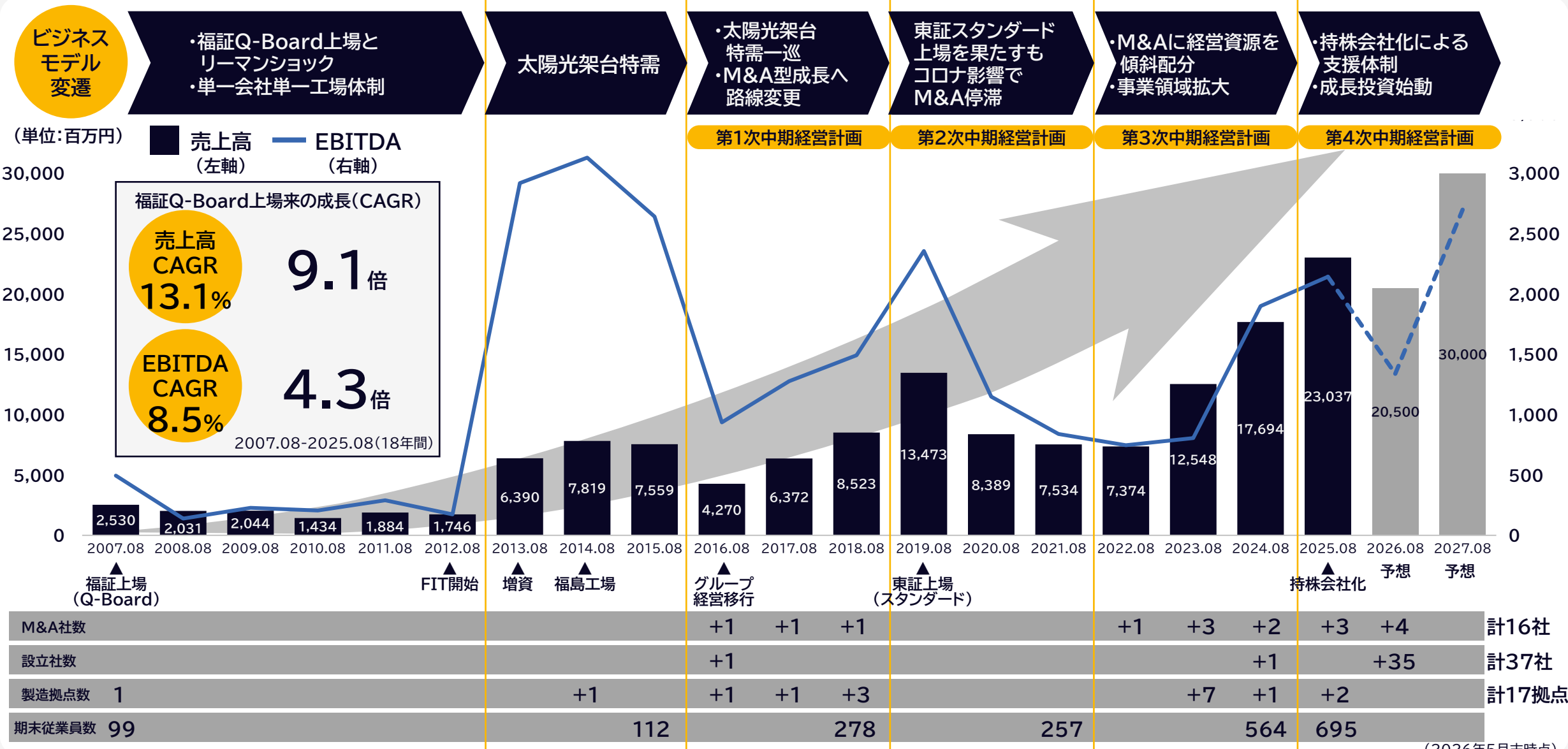
その他

太陽光発電事業

東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社



当社ビジネスモデルの変遷と売上高・EBITDAの推移



(注)M&Aや設立会社のうち連結子会社化している会社のみを記載しております。非連結子会社であるシキファニシア、日創不動産、穴井工務店、新華日通は含まれておりません。
EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

	売上高	営業利益	EBITDA
業績	15,476百万円 前年同期比▲15.3%	514百万円 営業利益率3.3% 前年同期比▲63.7%	1,269百万円 EBITDA率8.2% 前年同期比▲36.0%
売上高	- 金属加工事業では、データセンター関連案件が好調に推移。一方で太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルの案件減少。 - 化成品事業では、前年度子会社化した大鳳、泉製作所の業績が寄与。 - 建設事業では、大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動。 - ライフスタイル事業では、主にタイル販売において、住宅需要が全国的に減少している影響を受け減収。		
営業利益	- 金属加工事業では、主に減収による減益。 - 建設事業では、主に減収による減益。 - ライフスタイル事業では、主にカナエテによる事業立ち上げフェーズにおける先行投資によるセグメント損失。 - 一過性の費用としてB SLASH HOLDINGSを連結の範囲に含めたことに伴い、M&A手数料239百万円を計上。		
EBITDA	営業利益減益になるも、のれん償却額増加。		

INDEX

目次

- 01 2026年8月期 第3四半期業績概要
- 02 2026年8月期 通期業績見通しの修正
- 03 主なトピックス
- 04 第4次中期経営計画の進捗
- 05 株主還元の基本方針、配当予想
- 06 Appendix

01

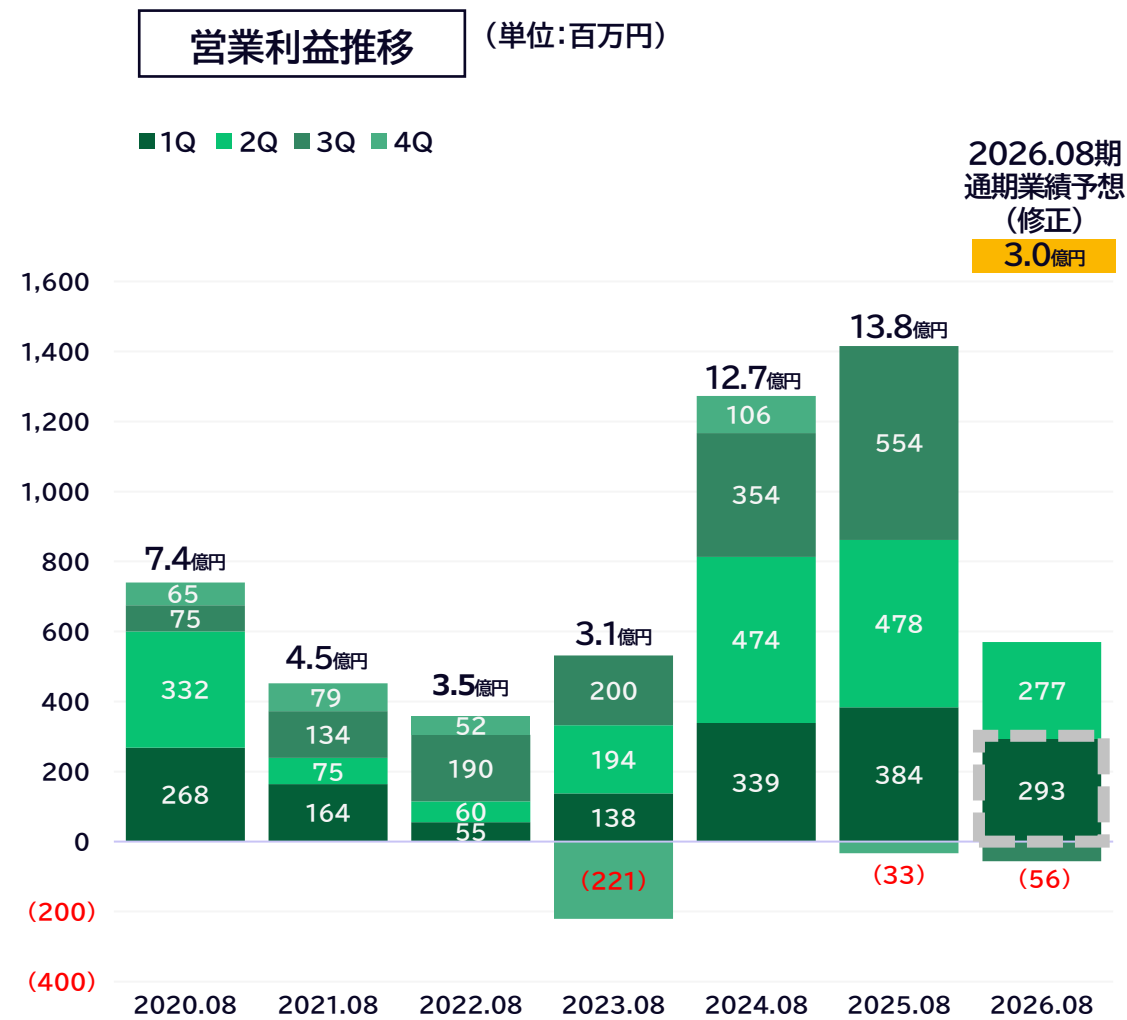
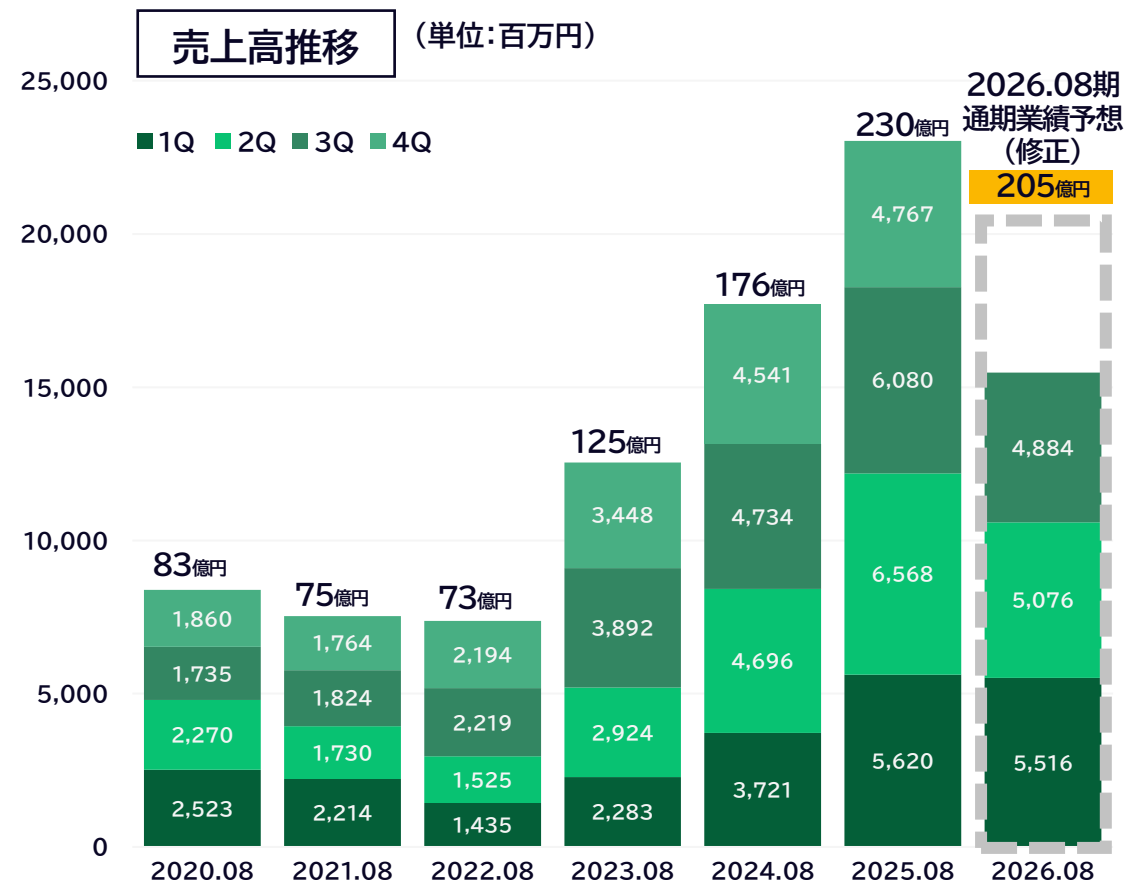
2026年8月期 第3四半期業績概要

第3四半期は、金属加工事業においてデータセンター関連案件が好調に推移。化成品事業では、前年度M&Aした2社(大鳳・泉製作所)の業績が期首より寄与。建設事業では、大型工事が集中し工事が大幅に進展した前期の反動があった。これらにより減収減益での推移となった。また、B SLASH HOLDINGSの株式取得時に発生したM&A手数料239百万円を一過性の費用として計上したことが影響し営業利益を押し下げた。

(単位:百万円)

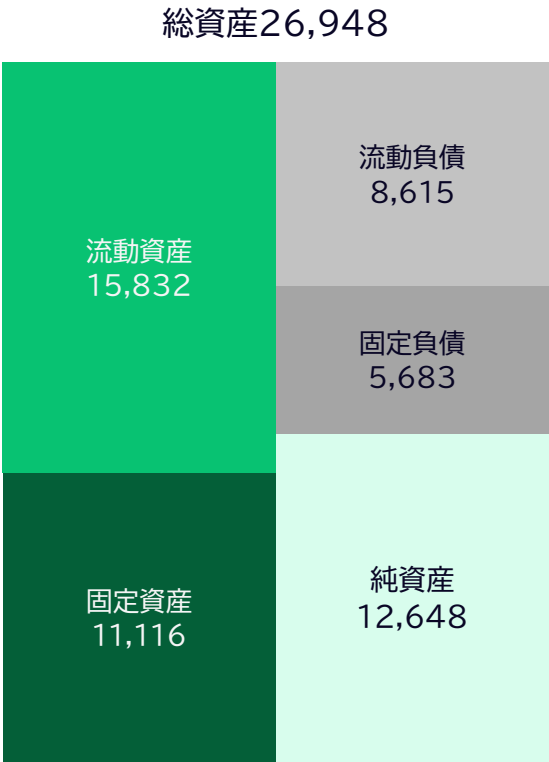
	2025年8月期 通期(実績)	2026年8月期 通期(当初予想)	2025年8月期 第3四半期累計	四半期業績		
				2026年8月期 第3四半期累計	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	23,037	23,600	18,269	15,476	▲2,792	▲15.3%
営業利益	1,383	900	1,417	514	▲903	▲63.7%
(営業利益率)	(6.0%)	(3.8%)	(7.8%)	(3.3%)	(▲4.4P)	—
経常利益	1,401	890	1,423	530	▲893	▲62.7%
純利益	917	520	1,093	158	▲934	▲85.5%
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)	2,144	1,941	1,982	1,269	▲712	▲36.0%
(EBITDA率)	(9.3%)	(8.2%)	(10.8%)	(8.2%)	(▲2.6P)	—
受注残	5,589	—	4,010	5,283	+1,273	+31.8%

第3四半期時点での売上高・営業利益推移は、前年比マイナスでの推移。
B SLASH HOLDINGSの株式取得に伴うM&A手数料239百万円を一過性の費用として計上。



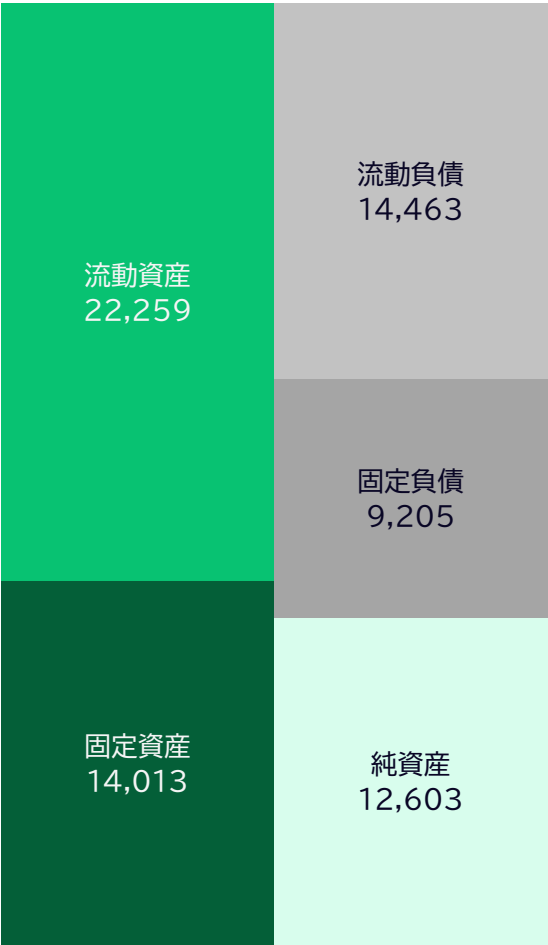
(単位:百万円)

主に、M&AによりB SLASH HOLDINGSを連結の範囲に含めたことに伴うもの



2025年8月期末

総資産36,272 前期末比+9,323



2026年8月期3Q末

流動資産

前期末比+6,426

現金及び預金+3,234、販売用不動産+1,499
仕掛販売用不動産+2,937
受取手形、売掛金及び契約資産▲1,522

固定資産

前期末比+2,896

有形固定資産+1,696、のれん+352
無形固定資産のその他+1,138
投資有価証券▲322

流動負債

前期末比+5,847

支払手形及び買掛金+704、短期借入金+4,021
1年内返済予定の長期借入金+784
未払法人税等▲209

固定負債

前期末比+3,521

長期借入金+3,168

純資産

前期末比▲45

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+158
剰余金の配当▲256

(単位:百万円)	2025年8月期 第3四半期累計		利益率	2026年8月期 第3四半期累計		利益率	前年同期比	
売上高	18,269	(構成比)	—	15,476	(構成比)	—	▲2,792	▲15.3%
金属加工事業	6,140	33.6%	—	5,910	38.2%	—	▲230	▲3.7%
化成品事業	1,917	10.5%	—	3,621	23.4%	—	+1,703	+88.8%
建設事業	6,016	32.9%	—	1,864	12.0%	—	▲4,152	▲69.0%
ライフスタイル事業	4,193	23.0%	—	4,063	26.3%	—	▲130	▲3.1%
調整額	—	—	—	16	—	—	+16	—
セグメント利益	1,835	(構成比)	—	600	(構成比)	—	—	—
金属加工事業(※)	1,012	55.2%	16.5%	474	79.1%	8.0%	▲537	▲53.1%
化成品事業	168	9.2%	8.8%	220	36.7%	6.1%	+52	+31.3%
建設事業	721	39.3%	12.0%	45	7.7%	2.5%	▲675	▲93.6%
ライフスタイル事業	▲66	▲3.6%	▲1.6%	▲136	▲22.8%	▲3.4%	▲70	—
その他	—	—	—	▲4	▲0.7%	—	▲4	—
調整額(※)	▲418	—	—	▲86	—	—	+331	—
営業利益	1,417	—	7.8%	514	—	3.3%	▲903	▲63.7%

主な変動要因

金属加工事業

ワタナベテクノスにおいて、データセンター向け防音筐体案件が好調に推移したが、日創プロニティにおいて、金属サンドイッチパネル・太陽電池アレイ支持架台が減収。
セグメント利益は、上記減収による減益の他、事業持株会社体制から純粋持株会社体制への移行に伴い、今期より経営管理料収入の計上を金属加工事業のセグメント利益から調整額に移行したため減益(※)。

化成品事業

前年度M&Aした2社(大鳳・泉製作所)の業績寄与により増収増益。
(化成品事業のれん償却額が136百万円増加)

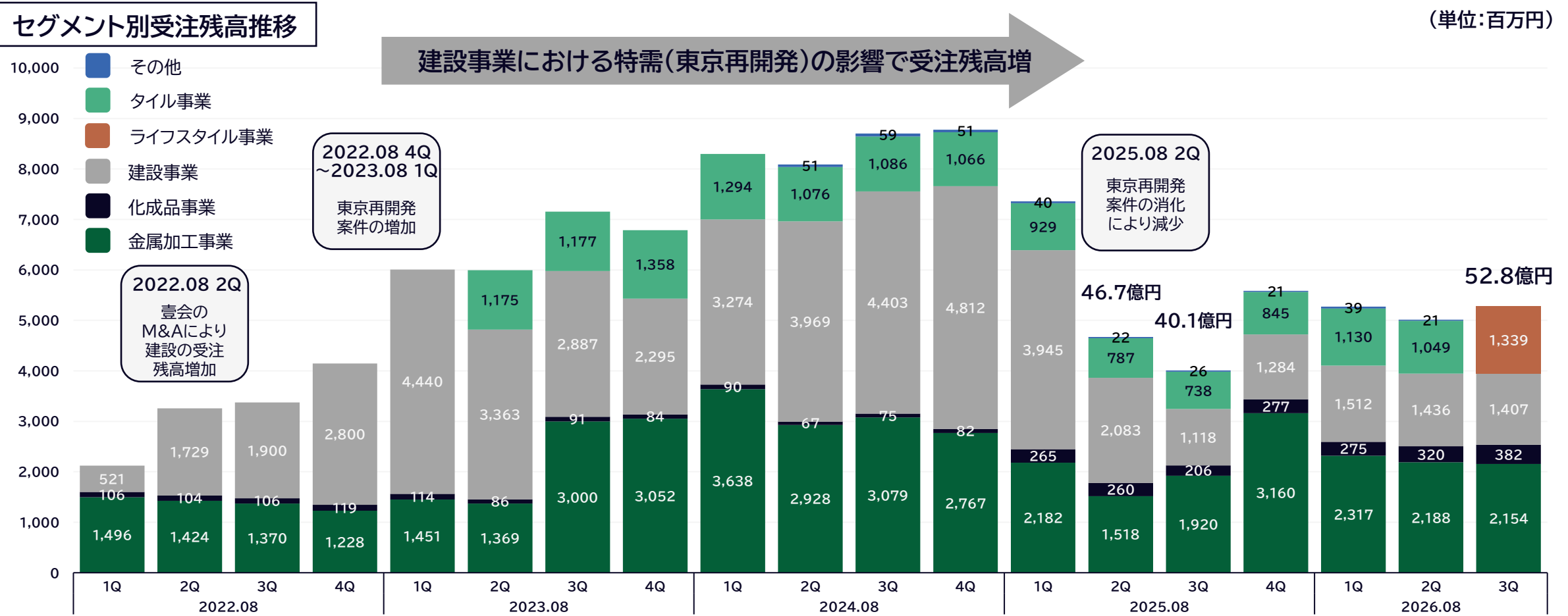
建設事業

大型工事が集中し工事が大幅に進展した前期の反動により減収減益。

ライフスタイル事業

住宅需要が全国的に減少している影響を受け、減収。またカナエテにおけるEC事業での先行投資により減益。

受注残高は、建設事業において特需の東京再開発案件消化が進み減少。平常時の受注残高水準に戻るも、全体としては前3Qに底打ち。



02

2026年8月期 通期業績見通しの修正

主として、金属加工事業において、データセンター関連案件は好調に推移したものの、太陽電池アレイ支持架台や金属サンドイッチパネルが減少した他、建設事業において、大型物件の計画見直しによる工事期間の変更や延期があったこと、新規案件の受注獲得が下振れたことにより、減収の見通しとなったことで、売上高を3,100百万円減収(前回公表値比13.1%減)の20,500百万円に下方修正。また、営業利益・EBITDA・経常利益においては、2026年8月期第3四半期にM&A手数料239百万円を一過性の費用として計上したこと、2026年8月期第4四半期において損益取込予定のB SLASH HOLDINGS含む4社の引渡し物件が少ない時期であることが影響し、通期連結業績取込予定の計画が営業赤字となる見通しであることを踏まえ、減益とした。

なお当期純利益は、特別利益として関係会社株式売却益(ダイリツの全株式譲渡)を計上予定であるため、これを見積もり織り込んだ。

(単位:百万円)

	2025年8月期 通期(実績)	2026年8月期 通期業績見通し(当初)	2026年8月期 通期業績見通し(修正)	前年同期比		当初業績見通し比	
売上高	23,037	23,600	20,500	▲2,537	▲11.0%	▲3,100	▲13.1%
営業利益	1,383	900	300	▲1,083	▲78.3%	▲600	▲66.7%
(営業利益率)	(6.0%)	(3.8%)	(1.5%)	—	(▲4.5P)	—	(▲2.3P)
経常利益	1,401	890	268	▲1,133	▲80.9%	▲622	▲69.9%
当期純利益	917	520	542	▲375	▲40.9%	+22	+4.2%
EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)	2,144	1,941	1,339	▲805	▲37.6%	▲602	▲31.0%
調整後EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額+M&A関連費用)	2,298	—	1,578	▲720	▲31.3%	—	—

03

主なトピックス

2026年5月にB SLASH HOLDINGS含む4社がグループインしたことに伴い、当社グループにおける事業内容及び経営管理区分を見直した結果、報告セグメントの名称を、従来の「タイル事業」から「ライフスタイル事業」に変更しております。

～2026年8月期2Q

金属加工

化成品

建設

従来通り

タイル



その他



東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社

2026年8月期3Q～

金属加工

化成品

建設

従来通り

ライフスタイル



その他

東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社

分譲マンションやリノベーションに建材提案を実施、相互交流を促進

- ベルフラッツの株式譲渡契約締結を4月15日、株式譲渡実行を5月7日に実施後、5月12日には各社の実務担当者がベルフラッツを訪問。
- 6月18日にはニッタイ工業の協力タイル工場を見学するなど相互理解を促進したほか、大鳳にてマンション工事におけるウレタン吹付工事を提案し、コストメリットを実現。
- グループイン後数か月で、グループ各社との交流をスピード感もって行っており、ベルフラッツグループで販売する分譲マンションやリノベーション物件に、グループ建材や商品の具体的な提案を推進している。

ベルフラッツ(マンション分譲開発)



ビーズネクサス(リノベーション)



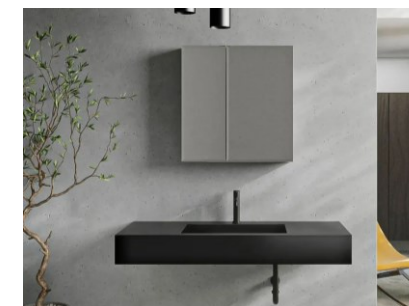
ニッタイ工業(タイル製造・販売)



マルトク(内装木材加工)



カナエテ(住宅設備機器販売)



シキファニチア(洋家具製造)



ダイリツは2018年にグループ化した空調関連機器を製造する企業。自動制御・防火・防煙等のダンパーを主に製造。特にオーダーメイドの特殊製品の製造に強みを有している。



2018年3月にグループ化



株式譲渡の背景

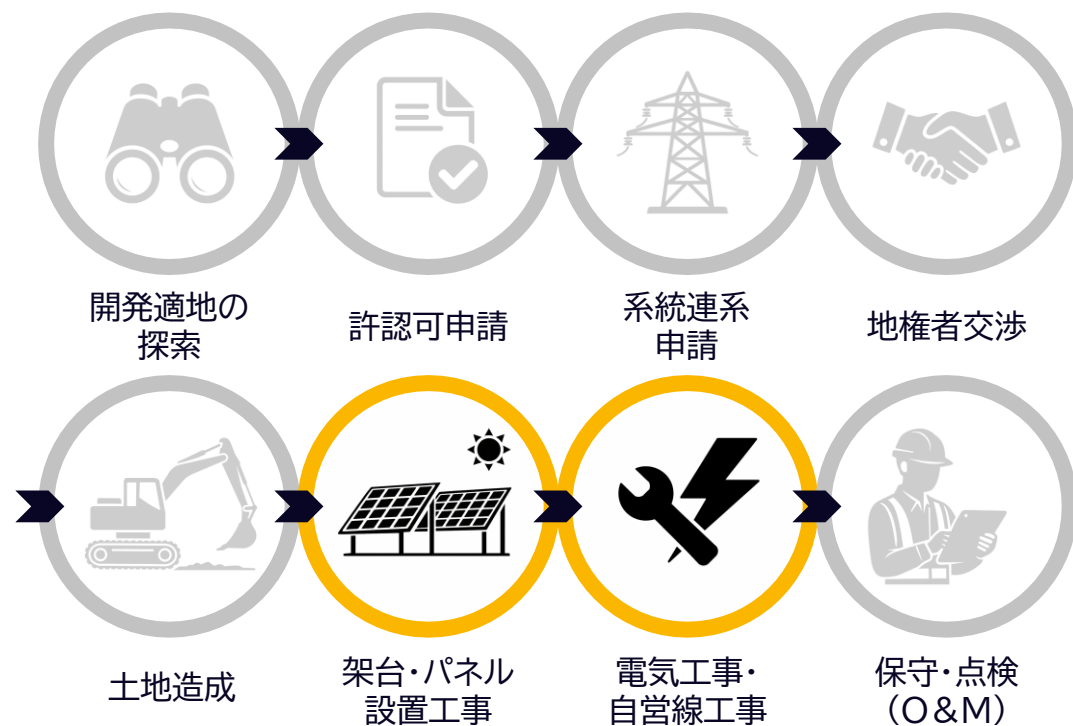
当社グループ及びダイリツの今後のさらなる発展を見据え、事業ポートフォリオを再考した結果、同社が持つポテンシャルを最大限に発揮するためには、大手空調用ダンパーメーカーの空研工業株式会社と連携を深めることが望ましいと判断し、株式を譲渡することとした。

ダイリツと同じく空調関連機器製造業に属した、大手ダンパーメーカーの空研工業へ株式譲渡。
翌期よりダイリツは当社連結子会社から外れる。
また、本件譲渡に際して、特別利益に係る会社株式売却益が発生する予定。
生み出したキャッシュは投資活動に利用予定。

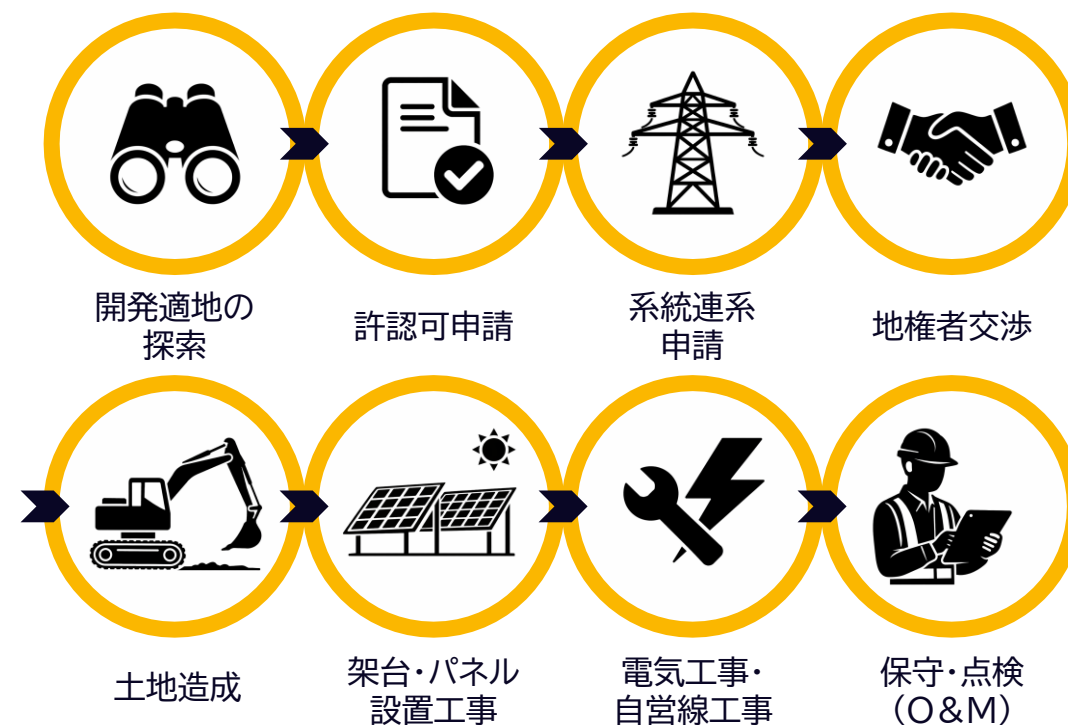
工事請負にとどまらず、**再エネを開発する事業へと転換を図る**ことで、太陽光発電所開発の上流工程を一貫して担い、「**開発→建設→O&M**」までの連続したバリューチェーン強化により付加価値を高める。

2026年2月に法人登記を完了、**向こう5年間で35か所の発電所開設**を目指す。(35社設立、87.92MW規模)

従来の提供サービス



新事業開始後の提供サービス



2024年12月に第三者割当による新株発行引受を行うことで、WITHDOM Groupへ出資し、住宅に関する製品の提案・供給などの活動を行ってまいりましたが、このたびWITHDOM社より本件の解消について、申し出があり、両社の将来を踏まえてポジティブであると考え、2026年5月に解消した。



当該株式譲渡により、当第3四半期にて、**投資有価証券売却益120百万円**を特別利益計上。資本関係は解消したものの、WITHDOM社への建築建材提案等取組は、今後も継続予定。

第4次中期経営計画の進捗

①M&A投資(成長ドライバーとして重要視)

- ・当社グループのM&Aが持つ社会的価値と経済的価値の両立
- ・「日創M&Aセブンルール」の明文化
- ・蓄積されたノウハウによるPMIの実行

投資枠
50億円

②先行投資(中長期的な成長のため)

- ・人財・新規事業・新製品開発への先行投資
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト

投資枠
10億円

③持株会社化によるグループ支援体制の拡充

- ・プロフェッショナル人財「七人の侍」によるグループ支援体制の拡充
- ・グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発などの推進
- ・さらなるグループシナジーを追求できる組織体制へ進化

NI
七人の侍

④資本コストや株価を意識した経営

- ・当社グループのPBR、ROEといった現状を分析
- ・当社グループが考える目指すべきROE水準の設定
- ・達成するための具体的なアクションプランの実行

ROE
目標8%

全体(M&A含む)の成長目標
(CAGR)

売上高
CAGR
19.2% 1.7倍

2024.08-2027.08(3年間)

全体(M&A含む)の成長目標
(CAGR)

EBITDA
CAGR
12.4% 1.4倍

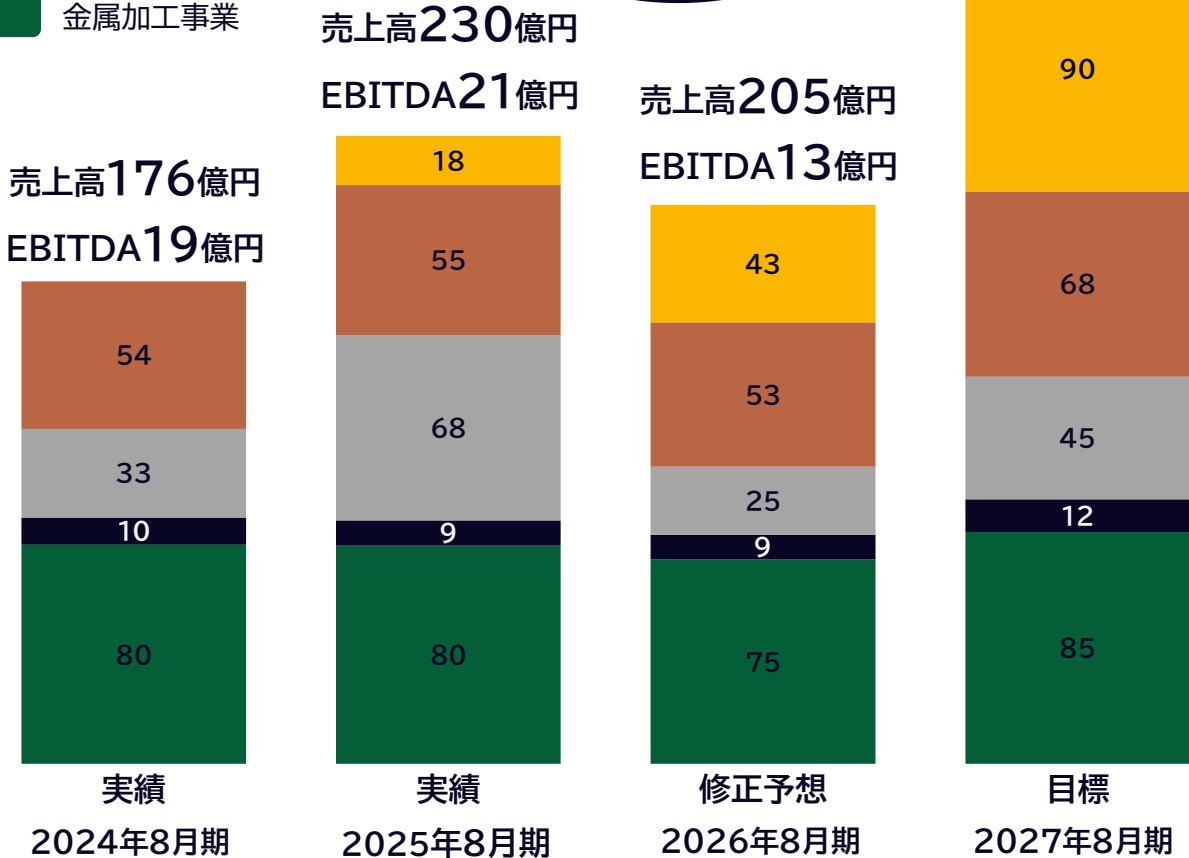
2024.08-2027.08(3年間)

既存事業の成長目標(CAGR)

売上高
CAGR
5.9% 1.2倍

2024.08-2027.08(3年間)

- M&A
- ライフスタイル事業
- 建設事業
- 化成品事業
- 金属加工事業



2027年8月期
目標(連結)

売上高
300億円
EBITDA
27億円

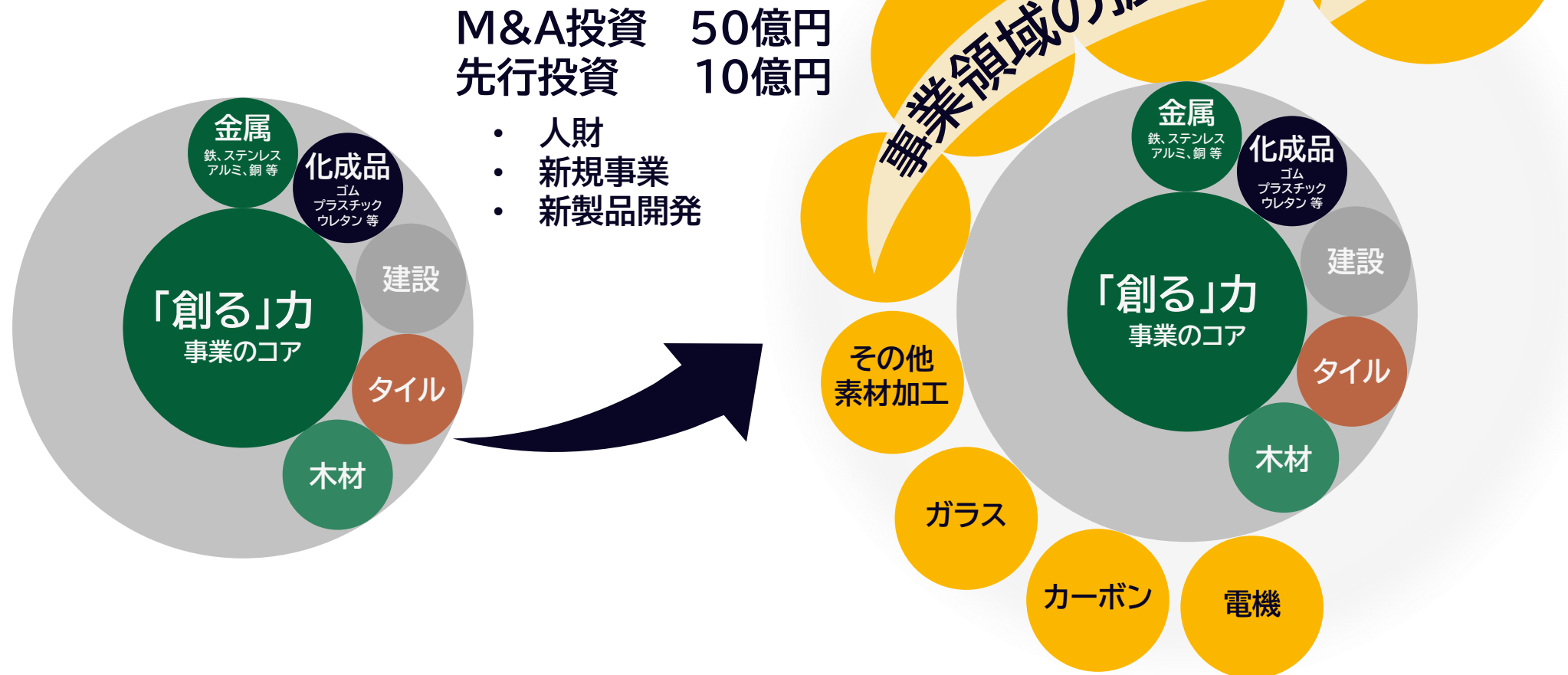
3ヶ年のM&A
投資枠

50億円
進捗 27.5億円 (2025年8月時点)

先行投資枠
(人財・新規事業・新製品開発)

10億円
進捗 7.2億円 (2025年8月時点)

事業のコアである「**創る**」力を軸に、M&A・人財・新規事業・新製品開発へ積極的に投資しながら、様々な素材、加工技術を有する製造業や、その周辺事業を中心に事業領域を拡大し、「**創る**」力で未来に挑む**企業グループ**を目指す。



M&Aによる会社数の増加に伴い、グループで取り組むべき課題が増加。持株会社体制への移行に伴い、持株会社から各事業会社を多面的かつグループ横断的に支援する体制を強化する。グループ経営を牽引するプロフェッショナル人財として「七人の侍」の採用と育成を推進中。

NI 七人の侍



M&A

M&A案件の検討、クロージング、PMIを推進・統括するプロフェッショナル人財

2025年2月採用済

営業戦略

グループ全体の営業を推進・統括するプロフェッショナル人財

2024年8月採用済

製造原価低減

グループ全体の製造効率化、内製化支援、原価低減、品質改善などを推進・統括するプロフェッショナル人財

新規事業

新規事業を推進・統括するプロフェッショナル人財

2025年6月内部昇格

新製品開発

グループ資源を活用して新しい製品を企画・開発するプロフェッショナル人財

経営管理

グループ全体の財務・会計をはじめとする計数管理を統括するプロフェッショナル人財

2026年2月採用済

IT戦略

グループ全体のIT戦略を立案し効率化を推進・統括するプロフェッショナル人財

累計14社のトラックレコード(2025年8月末時点)



2016年8月期～2025年8月期(10年間)の純投資金額累計と回収の状況

純投資
金額累計

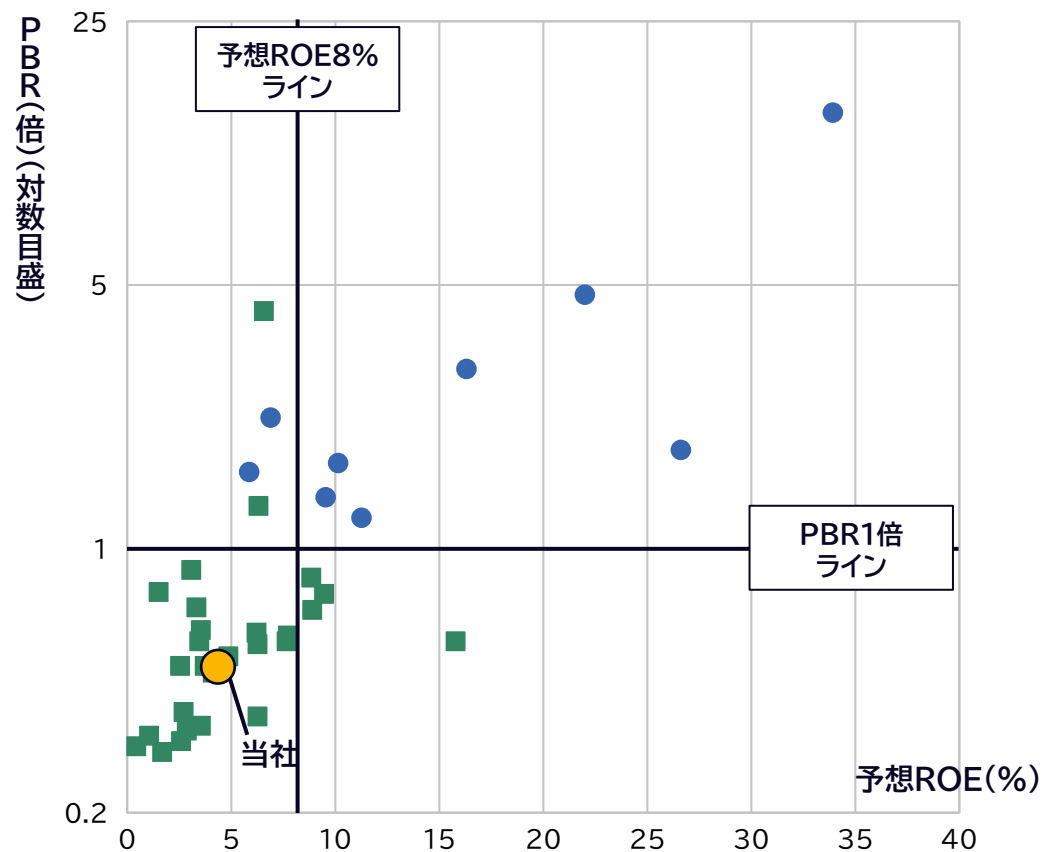
80.4億円
の
投資

回収
EBITDA累計

60.0億円
の
リターン

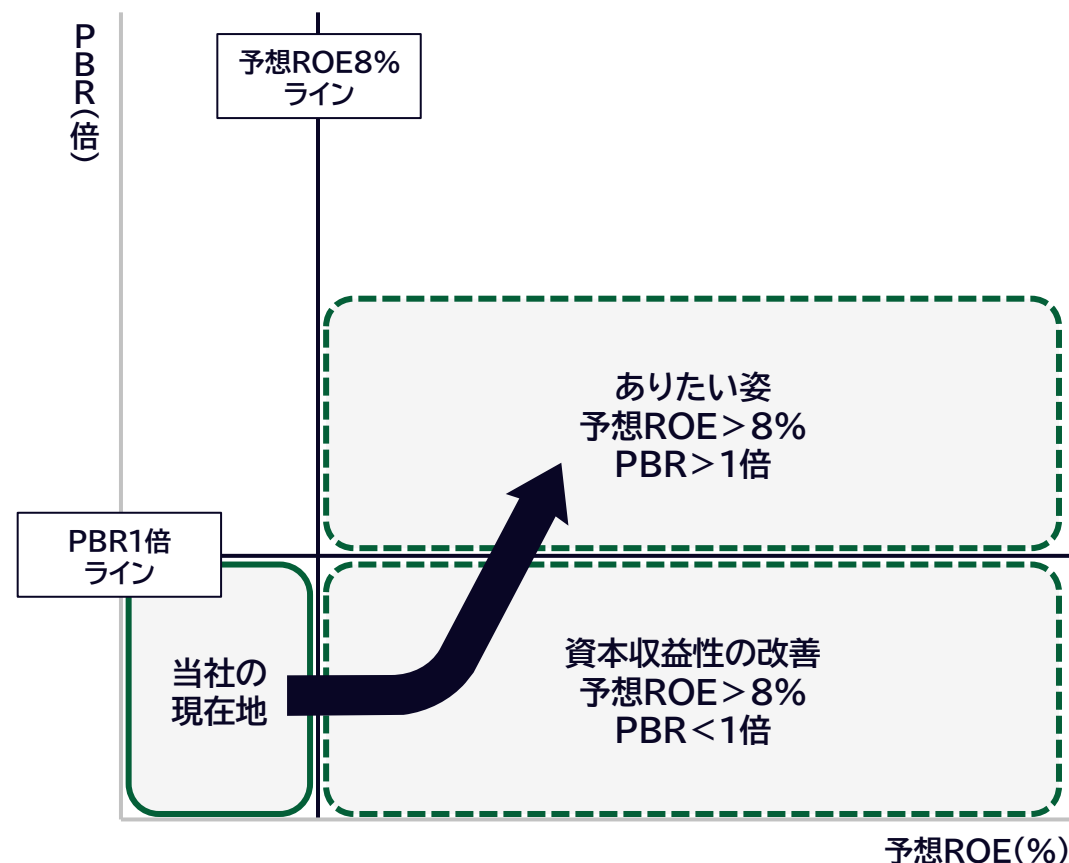
当社株式は、**東証33業種分類上「金属製品」**にカテゴライズされており、同業種分類(時価総額約50～200億円)企業と予想ROE、PBRを比較分析した。当社と予想ROE、PBR水準の近い企業が多い状況。

一方で、M&A型成長企業との比較では、予想ROE8%超、PBR1倍超となっている企業が多い。PBR1倍の達成に向けて、まずは資本収益性の改善を意識しつつ、実践していく方針。



● M&A型成長企業 ■ 「金属製品」企業 (時価総額50～200億円)

(各社2026年7月7日時点PBR・予想ROEで算定、一部当期純利益予想を開示していない会社は直近実績ROEを用いている)



PBR1倍以上を達成するため、稼ぐ力と成長期待度・信頼度をあげていく。

目標1倍以上

PBR

$\frac{\text{時価総額}}{\text{自己資本}}$

=

目標8%

ROE

$\frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$

×

目標12.5倍以上

PER

$\frac{\text{時価総額}}{\text{当期純利益}}$



中期経営計画目標の達成

- ・連結売上高 300億円
- ・連結EBITDA 27億円



シナジーを生み出す要素

- ・M&A投資 50億円
- ・先行投資 10億円
 - 人財
 - 新規事業
 - 新製品開発

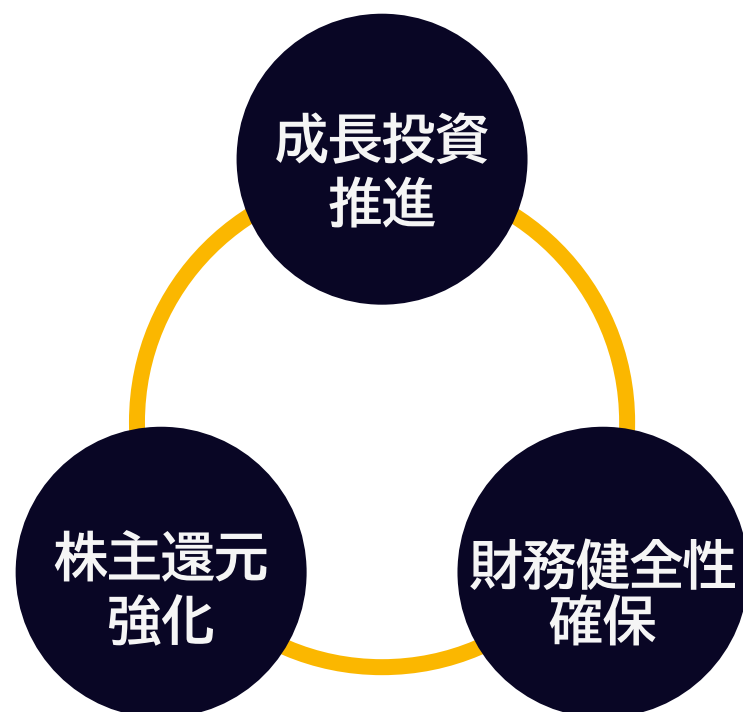


IR活動等の促進

- ・IR活動の推進・強化
- ・業績ボラティリティの低減
と成長ストーリーの両立

株主還元の基本方針、配当予想

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、**持続的な成長と企業価値向上**を図るための資金を成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行うことを基本方針としております。



成長投資推進

- ・人財投資
- ・M&A投資
- ・設備投資
- ・新規事業・新製品開発

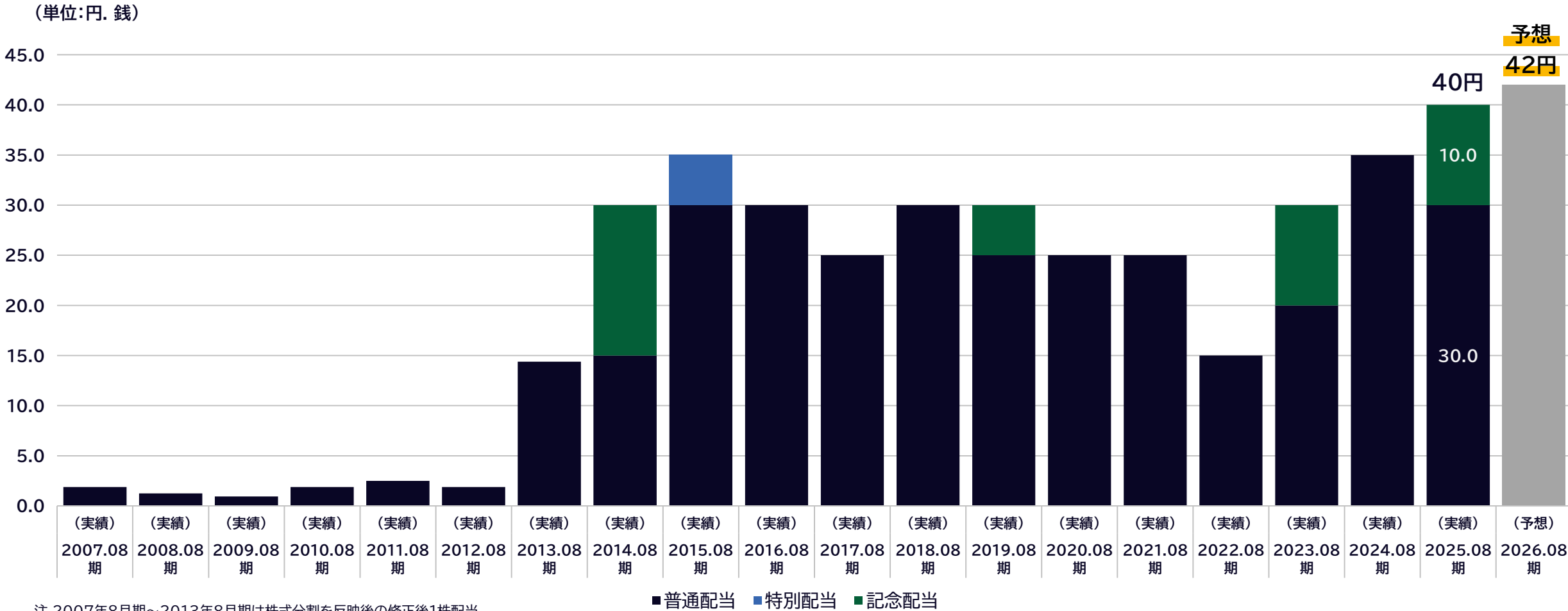
財務健全性確保

- ・借入金や自己資本のバランスを重視

株主還元強化

- ・業績を勘案しつつ配当金を継続的に充実
- ・時機を見ながら自己株式取得の実施

2025年8月期は、6月に持株会社体制に移行したこと記念し記念配当10円を加え1株当たり配当40円実績。
2026年8月期は、2円増配し1株当たり配当42円予想。



注.2007年8月期～2013年8月期は株式分割を反映後の修正後1株配当

06

Appendix

グループ経営理念



グループビジョン

「創る」力で未来に挑む企業グループ

現在の
ビジネス

ビジネスサイクル
「日創BOOOOST!」

目指す未来は

「創る」力で
未来に挑み
日本のものづくり
企業が輝く未来

第4次中計の対処すべき課題

- 1.M&A投資50億円
- 2.先行投資10億円
- 3.持株会社化によるグループ支援体制の拡充
- 4.資本コストや株価を意識した経営

日創グループのビジネスサイクル「日創BOOOOST!」



「創る」力を還元する

- ・生み出した付加価値を
ステークホルダーへ還元する
- ・事業で獲得したFCF_{*1}を
再投資に振り向ける
- ・資本コストと株価を意識
した経営の推進

*1:フリーキャッシュフローのこと



「創る」力をつなぐ

- ・各社の力を連携し、無駄なく活かす
- ・顧客基盤の共有
- ・各社のリソースを結集し、
新製品開発、新規事業を実現
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する
海外拠点化プロジェクト



「創る」力を広げる

- ・M&Aへの戦略的投資
- ・設備投資



「創る」力を鍛える

- ・人財への投資
- ・製造原価の削減
- ・PMI_{*2}により事業基盤を鍛える
- ・ハード以外のソフト力を強化
(品質、技術、デザイン、DX)
- ・成長が期待される既存事業強化
(再エネ、パネル、DC_{*3}向け)

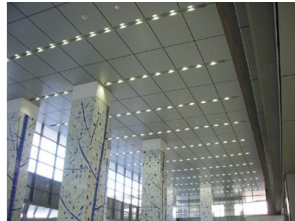
*2:M&A後の経営統合プロセスのこと

*3:データセンターの略

日創プロニティ株式会社



建築建材・環境エネルギー・機械装置・土木等、様々な業界に向けた、コイル鋼材から一気通貫の金属加工に強み。



天井パネル



耐火パネル



産業用ソーラーカーポート



一人用WEB会議室
SOLO BASE



金属加工事業

株式会社ワタナベテクノス



データセンターなどに設置される非常用発電機を収納するための防音・消音筐体を製造。技術力、大型筐体製作力に強み。



データセンター向け3900kVAクラス発電機用防音エンクロージャ



圧縮機用パッケージ



発電装置用パッケージ



遠心脱水機

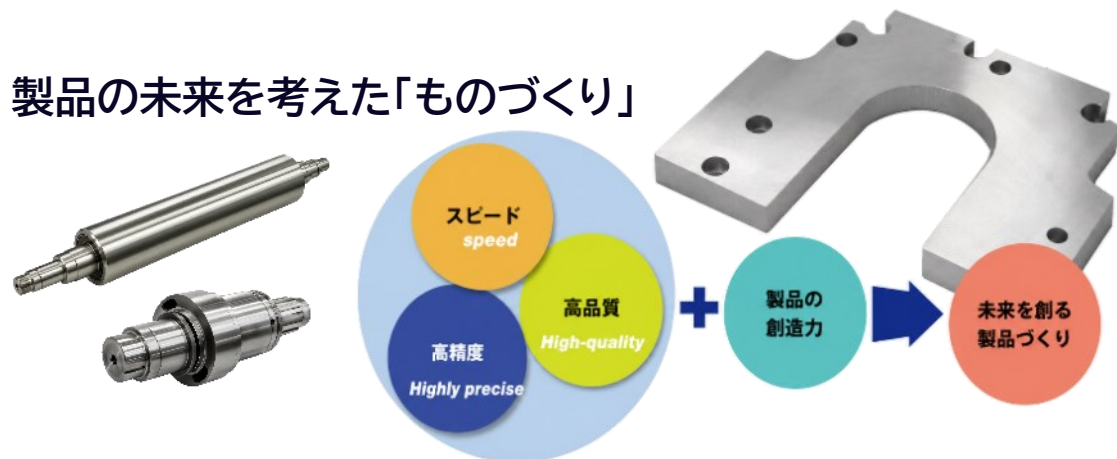
金属加工事業

綾目精機株式会社



印刷機、フィルム製造機、芝刈り機、ポンプ、エスカレーターなどに採用される金属精密部品の切削加工が強み。

製品の未来を考えた「ものづくり」



主な製作納入事例



オフセット印刷機シャフト



巻取機・燃系機部品



発電機用軸受

金属加工事業

株式会社天神製作所



大型畜産農場等で導入される畜産排泄物の堆肥化プラント製造に強み。堆肥化するペレットマシンにも強み。



TM片懸垂式発酵攪拌機
10～18m幅×100mの堆肥舎を堆肥高約3mにて堆肥化处理可能な機械設備。



TMロータリー攪拌機
シンプルに投入・取り出しができ、扱いが簡単。



TM供給ホッパー
堆肥の製品化・ペレット化に使用され、工場の粉体投入などでも使用される設備。



TMペレットマシン
シンプルで操作が簡単で、安価にペレットづくりができる。

金属加工事業

吾孺ゴム工業株式会社



原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、工業製品、建築製品、車両用品、道路用品等の加工・製造に強み。



AZラバージョイント(耐震可とう継手)
耐震性・止水性にすぐれた下水道マンホール接手。



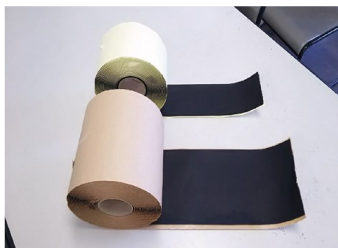
TTJ(耐震可とう継手)
孔内部作業のみで施工できるマンホール接手です。



AZPJ(耐震可とう継手)
塩ビ管同士をつなぐ可とう接手です。



シーラーテープ(紐状成形シール材)SP
ブチル系合成ゴムと合成ゴムスポンジとの複合シール材



ラップテープ
組立マンホール・ボックスカルバート接合部シール材



エキスパンションシール YFP
駅のプラットホーム・歩道橋等の躯体縁切り部継手

化成品事業

大鳳株式会社



自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野に向けてウレタン素材のパッキンやシール材を加工・販売。

①化成品加工販売事業

パッキン・シール材や吸音材・断熱材・緩衝材などに使われる各種発泡製品やゴム・不織布などの化成品に対して、自社工場と協力工場ネットワークによる加工・調整を加えたカスタム対応品を多数ご提供しています。求められる品質や仕様、現場の条件に合わせた製品づくりを通じて、「本当に使える部材」をお客様のもとへお届けします。



②ウレタン吹付工事事業

高い断熱と結露防止性能を持つ硬質ウレタンを、現場にて直接吹付・発泡施工することで、隙間なく断熱層を形成。当社では、信頼できる施工業者とのマッチング・原料選定・施工管理を行っています。



- ・ 戸建住宅(新築・リフォーム)
- ・ 集合住宅/店舗
- ・ 倉庫・作業場・貯蔵タンクなどの産業系建造物
- ・ 天井裏・壁面・床下の部分施工も対応可能

化成品事業

株式会社泉製作所



徹底した品質管理体制による自動車業界向けを中心としたプラスチック製品を射出成形する会社。



化成品事業

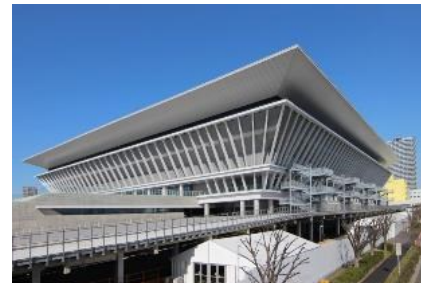
日創エンジニアリング株式会社



内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心に、日創プロニティとともに材エー括での提案により大型建設工事が強み。



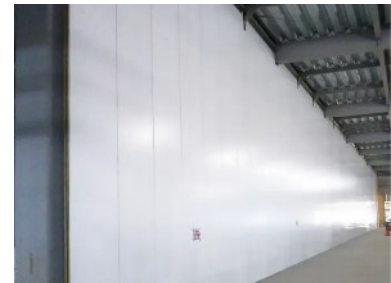
大型太陽光発電所施工事例



スポーツ施設アルミパネル施工事例



クリーンルーム施工事例



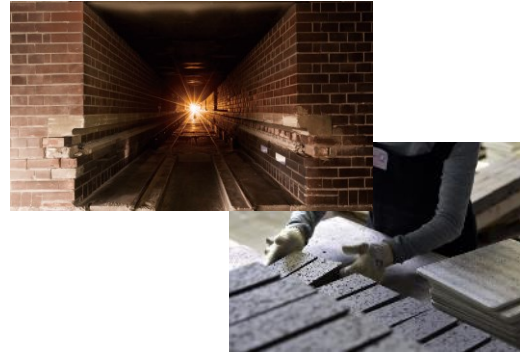
耐火パネル施工事例

建設事業

ニッタイ工業株式会社



内外装タイルを製造販売。焼物として味わい深い湿式タイルの国内トップメーカーで、特殊品オーダーに強み。



特注レンガ施工事例
(前橋市立桃井小学校)



特注テラコッタルーバー施工事例
(読売新聞社東京本社ビル)

ライフスタイル事業

株式会社マルトク



内外装木材の加工に強み。ミリ単位で木製天板をオーダーカットできるECサイトマルトクショップを運営。



m3 PRODUCT: デザイナーとの共同開発ブランド

m3 PRODUCT

ライフスタイル事業

シキファニチア株式会社

SiKI

チェア、テーブル、ソファ等の家具メーカー。
繊細なデザインを表現する高度なものづくり技術に強み。

新ブランド「AKITSUKI」



選び抜かれた国産材



カイト



フォーマルW



納入事例: 志摩シーサイドカンツリークラブ



納入事例: 鮎ト和食いちり 博多

ライフスタイル事業

(非連結子会社)

カナエテ株式会社

アイデアをカタチに。
Kanaete

ものづくり企業の製品を集め販売するECサイトKanaeteを運営。
住宅設備機器のEC販売、システム受託開発も行う。

①ECプラットフォーム事業

モノづくりの可能性を広げていきたい。
「創りたい人」、「創り手」、「買い手」を繋げる
プラットフォームを目指し運営する自社EC
サービスが『Kanaete(カナエテ)』です。



②住宅設備機器のEC販売事業

「あなたの暮らしに非日常感を。」をコンセプトに、
旅先で感じるような感動と落ち着きを
日常の中に落とし込み日々の暮らしを豊かなものに。
そんな住宅設備機器をEC販売しています。

Crafree



③システム受託開発事業

現場の声に耳を傾け、業務に本当に合った機能だけを、使いやすく、見やすく。ITに詳しくなくても、すぐに使えるシステム・サイトを届けています。



システム開発



EC開発



HP制作

ライフスタイル事業

株式会社穴井工務店



創業から半世紀以上、累計1,500棟を超える実績をもつ、地域に根差した注文住宅工務店。



窓から差し込む光と木のぬくもりを感じる家



癒し薫 無垢の大黒柱と暖炉のある家



テラスで つ・な・が・る



北欧モダンなmono tone house



土間のある生活



個人事業主向けアパート
SOHO長屋 SEED(シード)

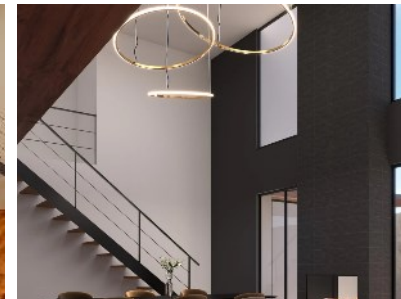
ライフスタイル事業

(非連結子会社)

日創不動産株式会社



住まい探しから売却、資産運用、管理、リノベーションまで。あらゆる不動産ニーズに対応。



不動産仲介



賃貸仲介



不動産買取



不動産管理

ライフスタイル事業

(非連結子会社)

株式会社ベルフラッツ



仕入から開発、販売まで自社ブランドにて展開し、顧客ニーズに柔軟に対応できる強みを持つマンションデベロッパー。

【販売中】



ベルジェンド海老名
(センタープレイス) <完成予想CG>



ベルジェンド海老名
(ミッドマークス) <完成予想CG>

ライフスタイル事業

株式会社ビーズネクサス



マンション開発のノウハウを活かした、「顧客本位のリノベーション」をテーマに新築分譲マンションにはない価値を提案する。



リノベ住宅はもっとスマートになる。

ライフスタイル事業

NISSO DESIGN STUDIO



ベトナム・ハノイを拠点とし、設計支援・製作支援・品質管理・調達支援を行う「グループ技術支援拠点」を目指す。

①設計作図

日創プロニティ

太陽光架台組立図/部品図/詳細図
ソーラーカーポート部品図/詳細図
NSカバー2D/3D作図

マルトク

板材設計作図
家具図面作図

②製作作図

日創プロニティ

別注品製作図/曲げ図/バラ図
展開図/切断指示書

ワタナベテクノス

曲げ図/バラ図/展開図
切断指示書



③製造管理

ワタナベテクノス

排気・排風・給気消音器の品質管理
製作品検査/出荷前品質確認

④調達サポート

ニッタイ工業

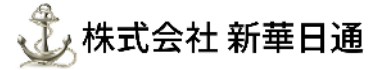
ベトナム企業調査
現地企業との調整/翻訳支援
現地視察同行



海外設計拠点

(非連結子会社)

株式会社新華日通



貿易専門商社として、独自のネットワークを駆使し、グループ全体の輸出入の支援を目指す。

主な調達品



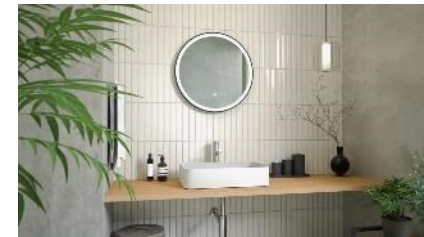
ロックウール保温材



産業用ソーラーカーポート



木質建材・木材



住宅設備関連資材(洗面ボウル等)

貿易専門商社

(非連結子会社)



CONTACT

お問い合わせ

日創グループ株式会社
グループ経営戦略本部 IR・SR部

☎ 092-555-2825

🌐 <https://www.nissogroup.com>

✉ ir@nissogroup.com

■ ディスクレーマー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。